

【 認 定 混 合 物 温 度 管 理 一 覧 表 】

認定番号 8313-019-2606
 認定有効期間(令和8年7月1日～令和9年6月30日)
 混合所名 砂町アスコン 株式会社 東京合材工場

番号	混合物記号	混合物の種類	出荷温度	現場管理推奨温度		
				到着	敷均	初期転圧
1	Vf-01A	都型アスファルト処理混合物(30)[75回](MF)60/80	150～180	145～180	135～175	130～170
2	Vf-02A(T)	粗粒度アスファルト混合物(20)[75回](MF)(T)60/80	150～180	145～180	135～175	130～170
3	Vf-03A(T)	特別対策粗粒度アスファルト混合物(20)[75回](MF)(T)ポリマー改質Ⅱ型	165～185	160～185	150～180	145～175
4	Vf-04A(T)	密粒度アスファルト混合物(20)[75回](MF)(T)60/80	150～180	145～180	135～175	130～170
5	Vf-05A(T)	特別対策密粒度アスファルト混合物(20)[75回](MF)(T)ポリマー改質Ⅱ型	165～185	160～185	150～180	145～175
6	Vf-06A(T)	密粒度アスファルト混合物(13)[75回](MF)(T)60/80	150～180	145～180	135～175	130～170
7	Vf-07A(T)	特別対策密粒度アスファルト混合物(13)[75回](MF)(T)ポリマー改質Ⅱ型	165～185	160～185	150～180	145～175
8	Vf-08	細粒度アスファルト混合物(13)[50回](MF)60/80	150～180	145～180	135～175	130～170
9	Vf-11	透水性用開粒度アスファルト混合物(13)[50回](MF)60/80	150～180	145～180	135～175	130～170
10	Vf-16	都型細粒度アスファルト混合物(5)[50回](MF)60/80	150～180	145～180	135～175	130～170
11	Vf-18A	特別対策都型開粒度アスファルト混合物1号(13)[75回](MF)ポリマー改質Ⅱ型	165～185	160～185	150～180	145～175
12	Vf-19	都型開粒度アスファルト混合物2号(13)[50回](MF)60/80	150～180	145～180	135～175	130～170
13	Vw-03A(T)	特別対策粗粒度アスファルト混合物(20)[75回](MF)(T)ポリマー改質Ⅱ型	145～165	140～165	130～160	125～155
14	Vw-05A(T)	特別対策密粒度アスファルト混合物(20)[75回](MF)(T)ポリマー改質Ⅱ型	145～165	140～165	130～160	125～155
15	Vw-06A(T)	密粒度アスファルト混合物(13)[75回](MF)(T)60/80	130～160	125～160	115～155	110～150
16	Vw-07A(T)	特別対策密粒度アスファルト混合物(13)[75回](MF)(T)ポリマー改質Ⅱ型	145～165	140～165	130～160	125～155
17	Vw-16	都型細粒度アスファルト混合物(5)[50回](MF)60/80	130～160	125～160	115～155	110～150
18	Vw-18A	特別対策都型開粒度アスファルト混合物1号(13)[75回](MF)ポリマー改質Ⅱ型	145～165	140～165	130～160	125～155
19	Vw-19	都型開粒度アスファルト混合物2号(13)[50回](MF)60/80	130～160	125～160	115～155	110～150
20	V-21(K)	特別対策ポーラスアスファルト混合物(13)[50回](MF)(K)ポリマー改質H型	155～185	150～185	140～180	135～175
21	Vf-21(T)	特別対策ポーラスアスファルト混合物(13)[50回](MF)(T)ポリマー改質H型	155～185	150～185	140～180	135～175
22	Vw-21(T)	特別対策ポーラスアスファルト混合物(13)[50回](MF)(T)ポリマー改質H型	135～165	130～165	130～160	125～155
23	Rf-01	再生アスファルト安定処理混合物(30)[50回](MF)40/60	155～185	140～185	130～180	125～175
24	Rf-01A	再生都型アスファルト処理混合物(30)[75回](MF)40/60				
25	Rf-01Ad	再生都型アスファルト処理混合物(30)[75回](MF)40/60				
26	Rf-02A(T)	再生粗粒度アスファルト混合物(20)[75回](MF)(T)40/60				
27	Rf-02A(T)d	再生粗粒度アスファルト混合物(20)[75回](MF)(T)40/60				
28	Rf-02A(T)e	再生粗粒度アスファルト混合物(20)[75回](MF)(T)40/60	165～185	160～185	140～180	135～175
29	Rf-03A(T)	再生特別対策粗粒度アスファルト混合物(20)[75回](MF)(T)改質再生				
30	Rf-04A(T)	再生密粒度アスファルト混合物(20)[75回](MF)(T)40/60	155～185	140～185	130～180	125～175
31	Rf-06A(T)	再生密粒度アスファルト混合物(13)[75回](MF)(T)40/60				
32	Rf-06A(T)b	再生密粒度アスファルト混合物(13)[75回](MF)(T)40/60				
33	Rf-08	再生細粒度アスファルト混合物(13)[50回](MF)60/80				
34	Rf-11	再生透水性用アスファルト混合物(13)[50回](MF)60/80				
35	Rw-02A(T)	再生粗粒度アスファルト混合物(20)[75回](MF)(T)40/60	145～175	140～175	130～170	125～165
36	Rw-02A(T)d	再生粗粒度アスファルト混合物(20)[75回](MF)(T)40/60				
37	Rw-04A(T)	再生密粒度アスファルト混合物(20)[75回](MF)(T)40/60				
38	Rw-06A(T)	再生密粒度アスファルト混合物(13)[75回](MF)(T)40/60				
39	Rw-06A(T)b	再生密粒度アスファルト混合物(13)[75回](MF)(T)40/60				

※ 混合物記号の「Vf」「Rf」は施工性改善型合材の表記です(通常温度で製造したフォームドアスファルト混合物)

※ 混合物記号の「Vw」「Rw」は中温化合材(低炭素合材)の表記です

※ 現場管理推奨温度は室内試験における温度から推奨するものです。気温や施工条件、施工厚さを考慮して各現場で目標温度を設定してください。

※ 掲載した転圧温度でヘアクラックが発生した場合は、設定温度を下げる等の処置を行ってください。

※ 『舗装施工便覧』の施工温度に関する注意事項

・敷きならし時の混合物の温度は、アスファルトの粘度にもよるが、一般に110℃を下回らないようにする。

・初転圧は、ヘアクラックの生じない限りできるだけ高い温度で行う。

・二次転圧の終了温度は一般に70～90℃である。

・ポーラスアスファルト混合物のタイヤローラによる仕上げ転圧は、タイヤへの付着・空隙つぶれの懸念から70℃程度になってから行うのが望ましい。

◆ 二次転圧温度 = 90℃以上(ポリマー改質Ⅱ型は110℃以上)

◆ 二次転圧終了温度 = 70 ～ 90℃

◆ 路面開放温度 = 舗装路面 50℃以下

【 アスファルト混合物 温度管理一覧表 】

砂町アスコン(株) 東京合材工場

アスファルト混合物の名称		使用アスファルト	出荷温度 ℃	到着温度 ℃	敷均し温度 ℃	初期転圧温度 ℃
	半たわみ性アスファルト混合物Ⅰ型(13)	StAs 60－80	150～180	145～180	135～175	130～170
	半たわみ性アスファルト混合物Ⅱ型(20)	StAs 60－80	150～180	145～180	135～175	130～170
	半たわみ性アスファルト混合物Ⅰ型(13)	ポリマー改質Ⅱ型	165～185	160～185	150～180	145～175
	半たわみ性アスファルト混合物Ⅱ型(20)	ポリマー改質Ⅱ型	165～185	160～185	150～180	145～175
中温化アスファルト混合物(ecole-L)						
	半たわみ性アスファルト混合物Ⅰ型(13) ecole-L	StAs 60－80	130～160	125～160	115～155	110～150
	半たわみ性アスファルト混合物Ⅱ型(20) ecole-L	StAs 60－80	130～160	125～160	115～155	110～150
	半たわみ性アスファルト混合物Ⅰ型(13) ecole-L	ポリマー改質Ⅱ型	145～165	140～165	130～160	125～155
	半たわみ性アスファルト混合物Ⅱ型(20) ecole-L	ポリマー改質Ⅱ型	145～165	140～165	130～160	125～155

※ 現場管理推奨温度は室内試験における温度から推奨するものです。気温や施工条件、施工厚さを考慮して各現場で目標温度を設定してください。

※ 掲載した転圧温度でヘアクラックが発生した場合は、設定温度を下げる等の処置を行ってください。

※ 『舗装施工便覧』の施工温度に関する注意事項

- ・敷きならし時の混合物の温度は、アスファルトの粘度にもよるが、一般に110℃を下回らないようにする。
- ・初転圧は、ヘアクラックの生じない限りできるだけ高い温度で行う。
- ・二次転圧の終了温度は一般に70～90℃である。
- ・ポーラスアスファルト混合物のタイヤローラによる仕上げ転圧は、タイヤへの付着・空隙つぶれの懸念から70℃程度になってから行うのが望ましい。

- ◆ 二次転圧温度 ＝ 90℃以上（ポリマー改質Ⅱ型は110℃以上）
- ◆ 二次転圧終了温度 ＝ 70 ～ 90℃
- ◆ 路面開放温度 ＝ 舗装路面 50℃以下